



学校図書館だより

7月号

令和4年7月
柏市立柏第五中学校
柏市学校図書館指導員
土屋理賀子

7月になりました。記録的な早さで梅雨が明け、暑さも増して夏本番です。部活に勉強にと忙しい季節ですが、栄養と睡眠をとって体力を蓄えましょう。そして、夏休みには読書の時間をとってみませんか？普段は読むのに時間がかかる本にも挑戦してみてください。館内を涼しくして皆さんをお待ちしています。



長い夏休みは楽しみいっぱい!!宿題もいっぱい!!何とかしたい!!そんな時は、ぜひ図書館へ。夏休み中は自習場所（貸出はできません）として開館しています。

今年も五中図書館はみなさんの夏休みを

夏休み特別貸出

貸出冊数 ひとり5冊まで
※期間中は何度でも利用できます。

貸出期間 7/6(水)
~7/19(火)

返却は9/14(水)までです。

裏面に課題図書を紹介を載せました。貸出を希望する人は、館内にある貸出希望簿に名前を記入してください。貸出の申込をできるのは3冊のうちどれか1冊です。希望者が多い場合は抽選となります。

※申込は7/15(金)が締切です。



今月のおすすめ~テーマは夏~

『夏の庭-The Friends-』

湯本香樹実(著) 新潮社〈913/ユモ〉

町外れに暮らすひとりの老人をぼくらは「観察」し始めた。夏休みを迎え、ぼくらの好奇心は日ごと高まるけれど、いつしか少年たちの「観察」は、老人との深い交流へと姿を変え始めていたのだが…。決して失われぬものに触れた少年たちを描く清新な物語。

全力で応援します!!



読書感想文を書いてみませんか

読書感想文とは

ある本を読んで、その感想を文章で表現したもの。読後感想文ともいう。その本に書かれていた内容から受けた気持ちや印象、また、そこから自分が考えたことなどを第三者にわかるように文章に書く。文章にあらわすことで、書いてあった内容をより深く記憶にとどめることができるだけでなく、自分のつかうことばの範囲を広げたり、知識を広げたりすることができる。さらに、それをほかの人に読んでもらうことで、自分の考えを伝えることができる。

『読書感想文(どくしょかんそうぶん)』,総合百科事典ポプラディア(Sagasokka!)より,(2022-06-08 閲覧)

『サマータイム 上』

佐藤多佳子作 偕成社〈913/サ〉

11歳の夏。姉と僕は、雨のプールでもがくように泳ぐ彼に出会った。左腕を失った彼が奏でるピアノ、乗れない自転車。3人それぞれが互いに抱く友情以上の感情と、夏ならではの情景がオムニバスで描かれる青春物語。下巻『九月の雨』もおすすめです。

※『ライブラリーサーチ』の紹介文を一部引用しています。

第68回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

※主催事務局より表紙画像使用の許可を得ています。



指導員が選んだ夏休みのおすすめ!!

長編に挑戦!!

『鹿の王 上・下』 上橋 菜穂子 著 帝国から故郷を守ろうとする戦闘部隊「独角」のヴァンは、戦いの末に囚われていた。ある夜、犬の襲撃を受け、咬まれた人間は謎の病にかかってしまう。生き残ったのはヴァンと幼子だけだった……。家族の絆、原因不明の病をめぐる民族間の攻防と、読み始めたら止まらない面白さです。

地球の未来を考える

『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』くさばよしみ 編 2012年、地球の未来についての国際会議が開かれた。南米ウルグアイのムヒカ大統領は質素な姿で壇上に立った。彼は世界でいちばん貧しい大統領なのだ。給料の大半を貧しい人のために寄付し、自身はつましく暮らしていた。そんなムヒカ大統領の演説が終わると、会場には大きな拍手がわき起こった。この絵本は、その時のスピーチを意識したものです。SDGsが掲げられる今、とても考えさせられるスピーチです。

8月15日は終戦記念日

『黒い雨』 井伏鱒二著 広島で被爆した重松は、後遺症で思うように暮らすことができなくなった。何よりも心配だったのは、姪の矢須子の縁談、そして命だった。原爆投下から数年後の広島と人々の苦しみを描いています。一度は読んでほしい作品です。

